

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、西川図書館が重点的に取り組んだ事業。

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・中央図書館で開催した全館職員対象のレファレンス研修に職員が参加し、レファレンス力をスキルアップすることができた。	・集合研修ではなく提出された課題に対して各館で答えを提出し評価をもらうスタイルだったため、ほぼ全職員が参加することができた。 ・全館の中で高い評価を得たグループがあり、レファレンスサービスについて職員の意欲が高まり、サービスの充実に繋がった。	3 大変評価する。87.5% 2 ある程度評価する。12.5% 1 評価できない。0%	・(レファレンスサービス)よく応対するのを見かけたり聞いたりしている。
	◆館の重点評価項目 レファレンスサービスの周知	・誰でも気軽にレファレンスを依頼できるように、サービスの内容を広報する。	・11月に発行した「西蒲図書館だより」をレファレンス特集号とし、サービス内容と具体的事例を紹介した。聞きやすい雰囲気になるよう窓口担当職員が心がけた。 ・西川は減少したが3地区館が増加し、4館で14.5%増加した。	・今後も効果的な手法を検討しながら、レファレンスの広報を継続する。	3 大変評価する。75% 2 ある程度評価する。25% 1 評価できない。0%	・4館で14.5%の伸びは大きい。広報活動とともに雰囲気づくりなどの取組や心掛けも大きいと考える。 ・レファレンスサービスを広報することにより、多くの人知ってもらえたと思う。巻図書館でサービスを受けたが、とてもわかりやすかった。 ・「レファレンス」という言葉が何のサービスかを分からなくしている面があるように思う。サービス内容を的確に表す日本語名をつけるなど、もっと利用者に分かってもらう工夫が必要。
特色ある地域づくり型図書館	◇全館共通評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・各館で行政資料も含めた地域資料の収集に努め、蔵書冊数は4館で昨年度より4.6%増加し、貸出冊数も6.7%増加した。	・地域資料は原則として除籍しないため、増加が基本だが、貸出冊数の増加は、各図書館で地域資料の収集と展示に力を入れた効果によるものと思われる。	3 大変評価する。62.5% 2 ある程度評価する。37.5% 1 評価できない。0%	・蔵書冊数、貸出数の増加は収集努力と展示の効果であると評価する。 ・地域資料は学校の教育資料としても地域を知るために必要なので評価する。
	◆館の重点評価項目 各図書館で各地域資料のコーナーを新設	・図書館が各地域の資料の収集に力を入れていることを周知し、活用を促進する。	・各図書館で各地域の資料を集めたコーナーを新設し、その地域の資料が目につきやすくなった。	・今までは新潟県内の資料をまとめたコーナーだったが、その中から資料を別に集めて、西川は西蒲区の資料を集めたコーナーを、地区館は各地域の資料のコーナーを新設し、各々の地域資料が探しやすくなった。	3 大変評価する。87.5% 2 ある程度評価する。12% 1 評価できない。0%	・各地区の地域資料コーナーを設けることにより、より地域性、独自性を出すことにつながったと考える。 ・各館とも資料コーナーを新設したことは評価できる。地域の研究会、〇〇保存会や、△△を守る会などの活動報告書などを収集し、閲覧できるようにするとありがたい。
子ども・社会・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続するとともに、赤ちゃんタイムを拡大し、うちどく(家読)を推進する。	・ブックスタート事業の円滑な実施のために、ボランティア代表と社会福祉協議会、区の健康福祉課、公民館の担当者による年に1回の実行委員会を開催し、意見交換を行った。 ・赤ちゃんタイムは前年度中に全館実施済み。 ・学校図書館支援センターの学校訪問時に「うちどく」のPRを行った。また、西川中学校区では小中、コミ協と連携した取組を行った。	・H23年度から実施しているブックスタートは参加者から好評を得ている。今後も関係者と連携しながら円滑な事業の実施に努めていく。 ・赤ちゃんタイムは、引き続き来館者への周知に努め、赤ちゃんを連れた保護者の来館を促していく。 ・西川中学校区の「うちどく」は関係者に好評で次年度も継続して実施する。	3 大変評価する。75% 2 ある程度評価する。25% 1 評価できない。0%	・それぞれが連携し、会議を開き、意見交換を行うなど、良い体制作りが図られている。 ・いくつかの行政と連携しているブックスタートは大変良い活動だと思う。 ・ブックスタートの時に、保護者の方にもっと図書館をPR(特に赤ちゃんタイムを)してほしい。 ・ブックスタートから赤ちゃんタイムへと図書館への導入がスムーズに行われていることを評価する。「赤ちゃんタイム」は良い企画だと思う。 ・子供の読書環境の整備のためには、学校との連携が重要。
	◆館の重点評価項目 区内で活動する読み聞かせボランティアのスキルアップ	・読み聞かせボランティア養成講座を開催し、西蒲区の子どもの読書環境を整備する。	・読み聞かせボランティア養成講座を開催し、西蒲区を中心に46名の参加があった。全体講演の後、課題別に分かれて話し合いを行った。	・参加者46名の内、アンケートに答えた37名の集計では講座の内容が参考になったと回答したのは24名。多数の自由記述があり、読み聞かせは「本との出会いだけでなく人との出会いにもつながるステキなことだと実感した。」「今まで疑問に思っていたことの答えがもたらえた。」等々の感想をいただくことができた。	3 大変評価する。75% 2 ある程度評価する。25% 1 評価できない。0%	・読み聞かせは子供たちが大好きである。読み手のスキルアップは、本に子供を引き込み、本好きの子供たちを育てる大きな力となると考える。 ・すでにボランティアをされている方にとってはスキルアップになるし、本の選択に関しても参考になる。
市民参画と協働推進型図書館	◇全館共通評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、市民との協働を推進する。	・中之口地区図書室のリニューアル記念事業、巻図書館の「本の森講座」などを地域のボランティアと共にいった。 また、初めて共催した「西川クリスマスコンサート」と「西蒲区輝く子育てフェスティバル」は参加者が200名を超えた。	・今年度は、区地域課や新潟オペラスタジオから共催の申請があり、巻文化会館と西川多目的ホールを会場に大規模な事業を実施した。 実施にあたり、区内での連携先が広がった。	3 大変評価する。87.5% 2 ある程度評価する。12.5% 1 評価できない。0%	・コンサートやフェスティバルなど、足を運んでもらう工夫、協働する工夫が行われており、成果を上げている。 ・地区で様々な活動をしている人々と一緒に事業を進めることは大変良い。
	◆館の重点評価項目 図書館利用者の意見を聞く機会を開催	・図書館利用者懇談会を開催し、意見を聴取するとともに図書館の方針についても説明する。	・5年ぶりに開催し、14名の参加者から様々なご意見や質問をいただくことができた。	・参加者は、図書館で活動しているボランティアの方が多く、他は西川図書館の利用者で、利用に関する具体的な質問もあり、日頃の広報が不足していると感じた。 ・前半の図書館の方針についての説明が長くなり、アンケートでは「参加者が話す時間が少なかった。」という意見もあって、全体構成の検討が不十分だった。	3 大変評価する。50% 2 ある程度評価する。50% 1 評価できない。0%	・利用者からの意見を聞くことは素晴らしい取組である。継続していくことで、より参画と協働が進むものと考えている。 ・5年ぶりという事だが、毎年開催してほしい。 ・図書館利用者懇談会を開催したことを評価する。次回から参加者が話す時間を多く取る方向で行ったら良いのではないかと。 ・開催することは大変良いことなので、是非続けてほしい。 ・図書館利用者懇談会の模様を(匿名で要約版でも構わない)協議会委員で情報共有してほしい。